

特集 大人のホビー

折るだけでリアルな乗り物が作れる

「のりものおりがみ」に注目

大人のホビーとして注目されつつある折り紙だが、ハサミやのりを使わずに、折るだけで電車や自動車、飛行機など立体的な乗り物の作品が作れる「のりものおりがみ」というユニークな折り紙がある。これを考案したのは、国際弁理士として活躍する矢口太郎さん。矢口さんに、のりものおりがみについて聞きました。

「のりものおりがみ」は、あらかじめ乗り物のデザインが印刷された折り紙。のりやハサミなど道具は一切使わないのに、折り図通りに折ると、リアルで立体的な作品を作ることができる。簡単に

できるものもあれば、何度も練習しないと下手く折れないものもあるという。

このユニークなおりがみを考案した矢口さんの本業は弁理士。日本や米国で国際的に活躍している

方だが、きっと趣味としてずっと折り紙を楽しんでいるのだろう。「趣味でもなく、全然やってみてませんでした。昔から少々手先が器用で、折り紙が得意ということはありません」と意外な答えがありました。

「意外な答えが返ってきた。国際的な知的財産のライセンスビジネスに携わっている矢口さんだが、その仕事を通して、折り紙を産業化し、世界にも広めようと考えたという。

「のりものおりがみは、国際的な知的財産ライセンスの展



のりものおりがみの作品例（写真の作品はショウワグリの「おりモデル」より）

示会に参加しているときに思いつきました。私の会社では、折り紙をノベルティとして置いていたのですが、それが大人気で、折り紙には大きな可能性があると感じたのです。今まで折り紙というと古典的なものとか、身の回りにある花や動物がモチーフでしたが、これだ知的財産として保護される部分がありません。知的財産で保護されない限り、産業として折り紙を大きく発展させていくことは難しいと考えました。そこで、乗り物という輸送産業をモチーフとし、そのデザインをあらかじめ印刷してクラフト用折り紙とすれば、大きな需要が見込め、かつ知的所有権を確保する作品とすることができると思ったのです。

「目の前に紙があると、人はその紙に何か書いたり、折ったりし



ショウワグリンから発売されているのりものおりがみは、「のりものおりがみ」(200円) 3種と、新発売の「おりモデル」(300円) 8種、「おりモデルDX」(680円、8月中旬発売予定) 2種の13種類。デビュー間もないN700系新幹線の「おりモデル」(写真)もあるぞ！(価格は全て税別)



矢口太郎

恵泉国際特許・法律事務所グループ（東京・大阪・フィラデルフィア）主宰。熊本大学客員教授。日本の資格をもつ弁理士、敬虔なクリスチャンでもある。妻と娘2人の4人家族。日本や米国等、国際的な特許出願の他、意匠、商標、著作権が専門。特に、大学、ベンチャー企業や個人発明家のアイデアを欧米企業に国際ライセンスすることの支援を得意とする。

<http://www.origamipapercraft.com/japanese/>

ステーションナリーフリーマガジン【ブンツウ】

BUNZ

2007年8月号 / Vol.13

無料
ご自由に
お取りください

特別企画

maruman®
スケッチブック
50年の歴史



特集・大人のホビー



最新
ステーションナリー



塗り絵、折り紙、
カルトナージュ、豆本

大人のホビー
を徹底取材

ホビー向け
アイテム
多彩に紹介



違いがわかる男の
文具講座

12時間目
ルーペ
高畑 正幸



Rubber
Stamp Art
「スタンプ質問箱⑥」
塗り絵としてのスタンプ
こちよう かずこ

書きも書いたり⑧
両親の
ノート
樋口 健夫



ニューヨーク発
文具レポート
あまりにアメリカ的な
アメリカの切手事情
外海 君子



豪華賞品
続々の
読者
プレゼント

文具コラム
消しゴムはんこ職人
津久井 智子